

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	流体数値計算による風環境評価ガイドライン作成WG	主 査 名：持田 灯
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (空気環境小委員会)	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本WGは、最近の高層建物周辺の風環境(ビル風害)の数値計算による予測例の増加を踏まえ、数値計算技術を利用した風環境の適切な予測方法、その適用範囲などを明らかにする目的で設置された。 ・本年度は、これまでの活動成果を取りまとめ、数値計算手法により風環境の予測を行う際の留意点をガイドブック(ガイドライン)として公表するための内容の検討を進め、執筆作業を完了させることを目標に活動を進めた。 	
委員構成 (委員名(所属))	別紙	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 4 月 12 日 第 9 回WG (建築会館) 参加人数 9 名 2004 年 5 月 24 日 第 10 回WG (建築会館) 参加人数 12 名 2004 年 7 月 22 日 第 11 回WG (建築会館) 参加人数 9 名 2004 年 9 月 13 日 第 12 回WG (建築会館) 参加人数 11 名 2005 年 1 月 14 日 第 13 回WG (建築会館) 参加人数 10 名 2005 年 3 月 30 日 第 14 回WG (建築会館)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに実施された行われた各種のベンチマークテストの結果、成果報告シンポジウムでの反響・意見等を再検討し、風環境予測に数値計算手法を利用するための方法、留意点をまとめたガイドラインの第一稿をまとめた。 ・また新たに実施したベンチマークテストの結果等については、本会技術報告集、論文報告集、関連学会シンポジウム等で発表した。
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の活動によって、風環境予測に数値計算手法を利用するための具体的なガイドラインの項目や内容について、ほぼ WG 内の合意を得ることができ、ガイドブックの第一稿を取りまとめることができた。よって本年度の活動目標は概ね達成することができたと思う。
その他評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本WGの活動成果を、2004 年 9 月に英国にて開催された 2nd European Workshop ERCOFTAC SIG.5 Environmental CFDにおいて報告し、同様の研究を進めている欧州の研究グループと意見交換を行った。その結果をガイドラインに反映させることによって、世界的な研究動向を踏まえた内容とすることができた。

委員名簿

主査：持田 灯（東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻）

幹事：富永禎秀（新潟工科大学工学部建築学科）

委員：石田義洋（東京大学生産技術研究所）

石原 孟（東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻）

上原 清（国立環境研究所 地域環境グループ）

大岡龍三（東京大学生産技術研究所）

片岡浩人（（株）大林組 技術研究所数値・流体研究室）

倉淵 隆（東京理科大学工学部建築学科）

小林信行（東京工芸大学）

土屋直也（㈱竹中工務店 技術研究所情報研究部門）

野津 剛（清水建設（株）技術研究所）

野々村善民（（株）フジタ 技術センター）

張本和芳（大成建設（株）技術センター建築技術研究所）

日比一喜（清水建設（株）技術研究所）

村上周三（慶應義塾大学理工学部システムデザイン学科）

山中 徹（鹿島建設（株）技術研究所）

義江龍一郎（東京工芸大学工学部建築学科）

岩田達明（東北大学大学院，専門委員）

遠藤智行（東京理科大学工学部建築学科，専門委員）

佐藤大樹（慶應義塾大学大学院，専門委員）

吉川 優（大成建設（株）技術センター建築技術研究所，専門委員）

白澤多一（東北大学大学院，専門委員）

Ted Stathopolous（Concordia University，海外協力者）